

金属カンパニー

- 金属・鉱物資源開発(鉄鉱石、石炭、非鉄金属・レアメタル等)
- 原料・燃料・製品トレード(鉄鉱石、製鉄資源、石炭、ウラン、アルミ、非鉄原料・製品等)、リサイクルビジネス(金属スクラップ・廃棄物処理等)
- 脱炭素関連ビジネス(水素・アンモニア、CCUS、排出権取引等)
- 鉄鋼関連ビジネス(鉄鋼製品の輸出入、三国間取引、加工等)



金属カンパニー プレジデント
瀬戸 憲治



- 左から
金属資源部門長
金属カンパニーCFO
金属経営企画部長
鉄鋼製品事業室長
- 猪股 淳**
佐藤 一嘉
田野 治
新屋 徹

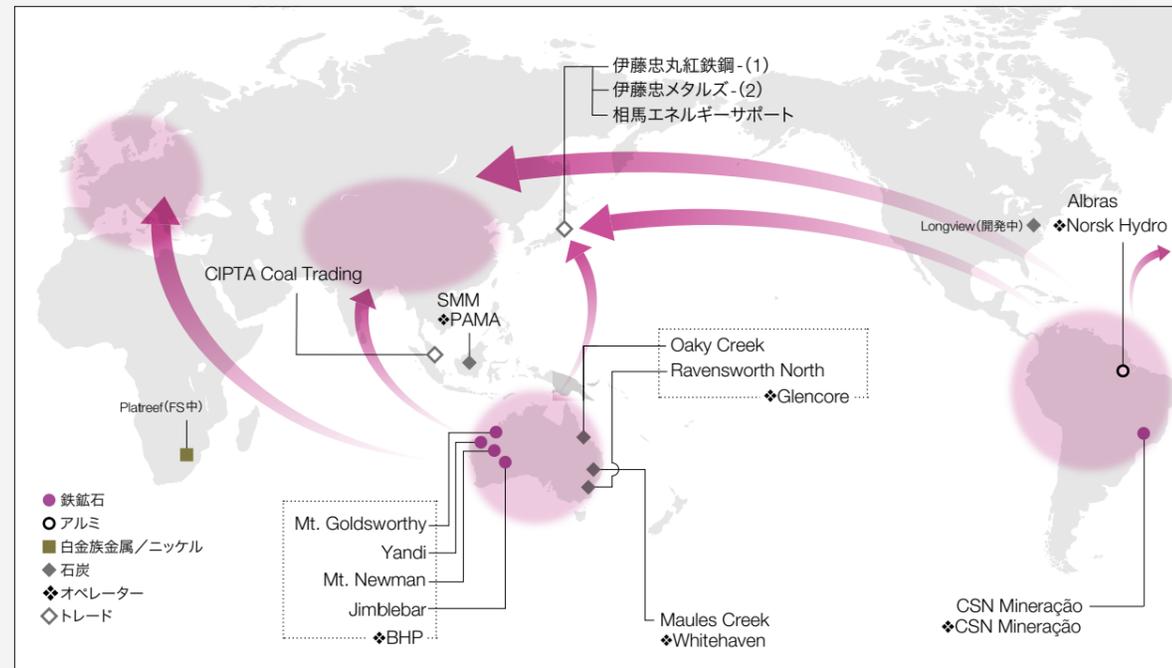
Strength カンパニーの強み

- 各事業分野における優良パートナーとの強固な関係
- 鉄鉱石、石炭を中心とした優良資源資産の保有
- 上流(金属・鉱物資源、金属原料)から下流(鉄鋼・非鉄製品)にわたる幅広いトレードフロー

事業展開

国内事業損益割合(イメージ)

10%



(1) 伊藤忠丸紅鉄鋼

- 世界全域にビジネス基盤を有する鉄鋼流通ビジネス専門商社
- 鉄鋼製品等の輸出入及び販売、加工、サプライチェーンマネジメント、鉄鋼関連業界への投資等、高付加価値サービスを提供



(2) 伊藤忠メタルズ

- 原料供給から資源の再利用まで、世界的ネットワークを有する非鉄金属・リサイクル専門商社
- 原料供給、製品流通、及び循環型社会の構築に寄与する総合リサイクル事業を積極的に推進



2020年度レビュー(確実な成果)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- ④ 次世代に繋がる権益基盤拡充に向け、豪州 South Flank 鉄鉱山及び米国 Longview 原料炭炭鉱の開発を推進
- ④ 水素の社会実装に向け、日本コークス工業(株)、ベルギー CMB 社と共に九州北部での水素地産地消モデル事業を推進
- ④ 脱炭素化推進のため、コロンビア Drummond 一般炭権益を売却
- ④ 持続可能な社会の実現に向け、リサイクルによる資源の有効活用や廃棄物の適正処理等、静脈産業への取組みを着実に推進

成長機会の取込み(持続的な成長)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- ④ 製鉄、電力会社等との強固な関係を活かし、カーボンニュートラル達成に不可欠な水素・アンモニア案件への取組みを強化
- ④ 脱炭素社会の実現に寄与する CCUS(CO₂回収・有効利用・貯留) 案件を着実に推進
- ④ リサイクル及び廃棄物適正処理等、循環型社会の構築に寄与する静脈産業への取組みを更に推進
- ④ EV/FCV、蓄電池、軽量化によるエネルギー効率の向上等、新たな技術や社会需要に不可欠な素材の安定供給

リスクへの対応(資本コストの低減)

$$\text{企業価値} = \frac{\text{創出価値}}{\text{資本コスト} - \text{成長率}}$$

- ④ 一般炭権益からの完全撤退に向けた取組み、及び GHG 排出量削減に寄与する技術開発の推進
- ④ 自動車軽量化・EV化に関連するビジネス(アルミ・レアメタル等)の取組強化
- ④ 原料・燃料の安定供給の基盤となる優良資産の拡充
- ④ EHS(環境・衛生・労働安全)ガイドラインの運用、及び社員教育の徹底
- ④ 地域社会に対する医療・教育・寄付の提供、及び地域インフラ整備等への貢献
- ④ DXを活用した鉱山操業・設備管理や、鉱山機材の自動運転化等を通じた効率化の推進

サステナビリティアクションプランに対応する項目に、該当するマテリアリティのマークを付しています。アクションプランの詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/activity/actionplan/>

- ④ 技術革新による商いの進化
- ④ 気候変動への取組み(脱炭素社会への寄与)
- ④ 動きがいのある職場環境の整備
- ④ 人権の尊重・配慮
- ④ 健康で豊かな生活への貢献
- ④ 安定的な調達・供給
- ④ 確固たるガバナンス体制の堅持

「SDGs」への貢献・取組強化の具体例



CMB 社の水素混燃エンジン

九州北部における水素地産地消モデル事業の構築

当社は、カーボンニュートラルのキーテクノロジーとして挙げられる水素に関する取組みを、カンパニー横断で進めています。

金属カンパニーでは、当社の重要顧客である日本コークス工業(株)、及び新造船において当社と長年の取引があるベルギー最大手の総合海運会社 Compagnie Maritime Belge 社(CMB 社)と共に、九州北部での水素地産地消モデル事業に関する共同事業化調査を実施しています。

本プロジェクトでは、コークス事業からの副生水素と CMB 社の水素エンジンを柱に、水素の需要・供給双方を創出し、2023年度までに地産地消モデルを始動・構築することを目指します。更に、同プロジェクトの他地域への積極展開により、グローバル規模での水素の社会実装を実現し、「SDGs への貢献・取組強化」を推進します。



カーボンニュートラル推進室
楠田 翔